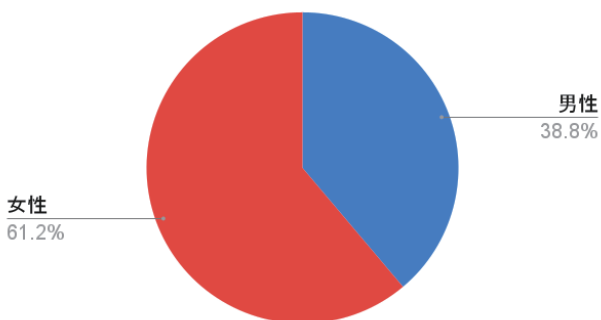


第 5 期富谷塾の状況

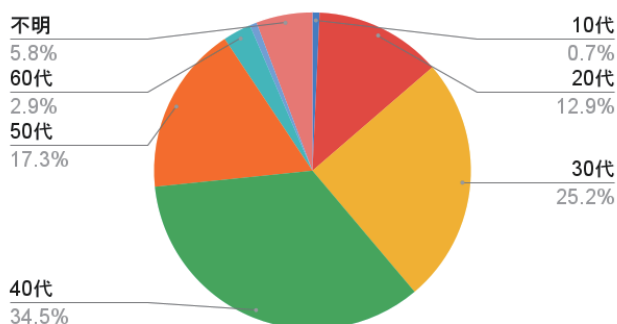
第 5 期富谷塾が始まって半期が経過しました。9 月末現在 139 名の方が在籍しており、性別で見ると女性が 6 割以上を占め、年代別で見ると 40 代が 34.5% と一番多く占めています。

やりたいこと探しの段階の人、やりたいことは定まっているがサービスを提供する相手が誰なのかが明確になっていない人、既に個人事業主として仕事はしているが今後どのように展開していけばよいのかわからない人など、さまざまな段階の人たちがいます。幅広い塾生がいるため、個別相談を中心に対応しています。

男女別割合



年代別割合



インターンの紹介

TOMI+では、9月より大学生2名をインターンとして受け入れています。二人とも富谷塾生です。アイデア豊富で行動力もあるので、即戦力として活躍してくれそうです。特に、大学生をはじめとする若い世代の人たちを巻き込んで、富谷をより一層盛り上げてくれることを期待しています。

宮城大学 4 年 菅野勇成さん（写真左）

富谷市明石台在住です。大学では、まちづくりについて学んでいます。大学での学びを深めながら、たくさんの方と交流したいと感じ、塾生として富谷塾に参加していましたが、この度インターン生としてお世話になることになりました。学生ならではの視点を大切にしながら、今までよりもたくさんの塾生の方々と交流を深めていきたいと思っています。活動を通しての目標は、多くの方と地域を繋ぐ掛け橋になることです！よろしくお願いいたします！



尚絅学院大学 3 年 佐々木 湧雅さん（写真右）

秋田生まれ富谷育ち。明石台に住んでいます。1年前に授業の課題で街の魅力について聞かれたときに『富谷の魅力ってなんだろう？』と思い、富谷塾に入りました。のびすく泉中央4階プラザで学生スタッフとして中高生の居場所づくりもしています。その他に冒険遊び場-せんだい・みやぎネットワークと MAKOTO WILL の方でもインターンもしています。大学生の内に富谷市にプレーパークを作りたいと思っています。街の人全員の居場所を作る為に活動していきたいです！！宜しくお願い致します。

人のために 富谷のために

合同会社ムカエノ家 代表社員
株式会社 Beauty Region 共同代表

みねお ゆきみ
峰尾 幸美さん



株式会社シライシホールディングスのグループ会社である、株式会社プロフィット企画より出資を受け、今年9月に新会社を設立した峰尾幸美さん。TOMI+2階のシェアオフィスに入居する富谷塾生だ。配送業と美容業の二足のわらじで富谷に貢献したいと奮闘している。そんな峰尾さんに富谷への思いや、今後やっていきたいことなどを聞いた。

富谷移住と配送業での出発

あるときは、ポロシャツにパンツ姿で駆け回り、あるときは清楚なワンピース姿。峰尾さんには配送業と美容業の2つの顔がある。片方の顔しか知らない人からは、イメージが違う！と驚かれることも多い。

石巻市出身の峰尾さんは、18歳のときに美容系専門学校進学のために上京。それ以来20年以上にわたり美容業界に携わってきた。以前から宮城県に戻って何かしたいと考えていたが、東日本大震災で実家が被災したことをきっかけに、人の役に立ちたい、宮城で何かしたいという思いが強くなった。

夫の仕事が一区切りついたことを機に、思い切って宮城に戻ってきたのは3年半前。富谷を選んだのは環境が良く住みやすそうだったからだ。

富谷に移住してからは、夫と二人で配送業を始めた。配送業界も会社経営も初めての経験で苦労は絶えなかった。

富谷市に貢献したい

配送業が安定してくると、TOMI+のシェアオフィスに入居しており富谷塾にも入塾していた峰尾さんは、お世話に



ブルーベリーの皮を乾燥させたもの

なっている富谷に恩返しがしたいと思うようになる。そんなとき、捨てられているブルーベリーの皮の存在を知った。ブルーベリーの皮は栄養豊富。捨てるなんてもったいない。以前から、もっと良い化粧品を自分で作れるのではないかと感じていた峰尾さんは、ブルーベリーの皮を使った化粧品を作ることを決意する。

共感してくれる企業との出会い

配送業をやりながら、美容の仕事も続けていた峰尾さん。富ヶ丘にある富谷カルチャースクール（※1）でメイク講座の講師もしていた。講師業をしながら、配送業やヘアメイクでも同グループの仕事に関わっていた峰尾さんは、徐々に信頼関係を築きあげていく。

そんな中、転機が訪れたのは今年の8月のこと。ブルーベリーの皮で化粧品を作りたいと話したところ、シライシホールディングスグループの方が峰尾さんの思いに共感。「いいですね。ぜひやりましょう！」と、トントン拍子に話が進んでいった。

将来的にはブルーベリーの生産も

10月には化粧水や乳液の試作品が完成する。将来的には化粧品のラインナップを増やし、化粧品以外でもブルーベリーを使った商品開発をしていきたいと考えている。さらに、ブルーベリーの生産も行いたいと話す。「もっと富谷をブルーベリーで盛り上げたいと思う反面、ブルーベリーの生産は足りておらず、そ

れどころか農家の高齢化により減少することが懸念されています。それなら自分が作ればいいと思ったんです」と峰尾さん。

また、自身も小学1年生と3年生のお子さんを持つ母親である峰尾さんは、子育て中の主婦が短時間だけ働きたくても働き口がないことに課題を感じている。そこでブルーベリーの生産を始めた暁には、農園で1、2時間だけ働けるような環境を提供していきたいと考えている。「微力ながら富谷の活性化に貢献したい」と峰尾さんは話す。

今はまだ立ち止まる時ではない

ヘアメイクの仕事をして、空き時間に配送に行き、またヘアメイクの仕事をし・・・と、一日のうちに何度も二つの顔を切り替えている峰尾さん。周りから心配されるくらいハードな日々を送っているが、「今はまだ立ち止まる時ではない」と言う。まだまだチャレンジしたいことはいっぱい。人の役に立ちたい、富谷市に貢献したい、そんな思いを胸に、峰尾さんは今日もポロシャツ姿で、そしてワンピース姿で走り続ける。

株式会社シライシホールディングス白石社長と株式会社プロフィット企画黒澤社長に私の夢を応援していただき感謝しております。このご縁を大切に飛躍していきたいと思います。（峰尾）

（※1）株式会社シライシホールディングスグループ株式会社エスコートが運営